

組織も、人も、“らしく” 輝く。

らしく働く組織の仕組みづくり



株式会社なないろのはな

CONTENTS

- 01 会社概要
- 02 取り組みの全体像
- 03 数字で見るなないろのはなの社員とは
- 04 職場づくりの実践 採用時の取り組み
- 05 職場づくりの実践 社員が働くルールを策定する
- 06 職場づくりの実践 いつでも相談できるような環境
- 07 働きやすい企業の実現 えるぼし認定・各種登録
- 08 コミュニケーション 会社と社員のつながり
- 09 福利厚生 生きること働くことの応援プログラム
- 10 子どもたちの未来を応援 大人の世界を見に行こう
- 11 今後の取り組みと展望

01

会社概要

- 社名 株式会社なないろのはな
- 代表 代表取締役 橋 亜希子
- 取締役 鹿内 幸四郎 / 藺田 直子(社会保険労務士)
高 由紀 / 豊田 健一(戦略総務フェロー)
- 所在地 石川県金沢市青草町88番地 近江町いちば館5階
- 電話 076-220-7469
- メール info@7716nohana.com
- 創業 2018年7月16日
- 事業内容 事務サポート・事務効率化コンサルティング /
クラウドソフトウェア[SaaS]導入サポート /
働き方改革イベント事業・セミナー講師派遣事業
- SaaS支援 キングオブタイム 公認導入支援パートナー
マネーフォワード 公認プラチナメンバー
奉行クラウド アプリケーションデザイナー



01

会社概要

これからの時代を見越した「バックオフィスの最適化」をご提案



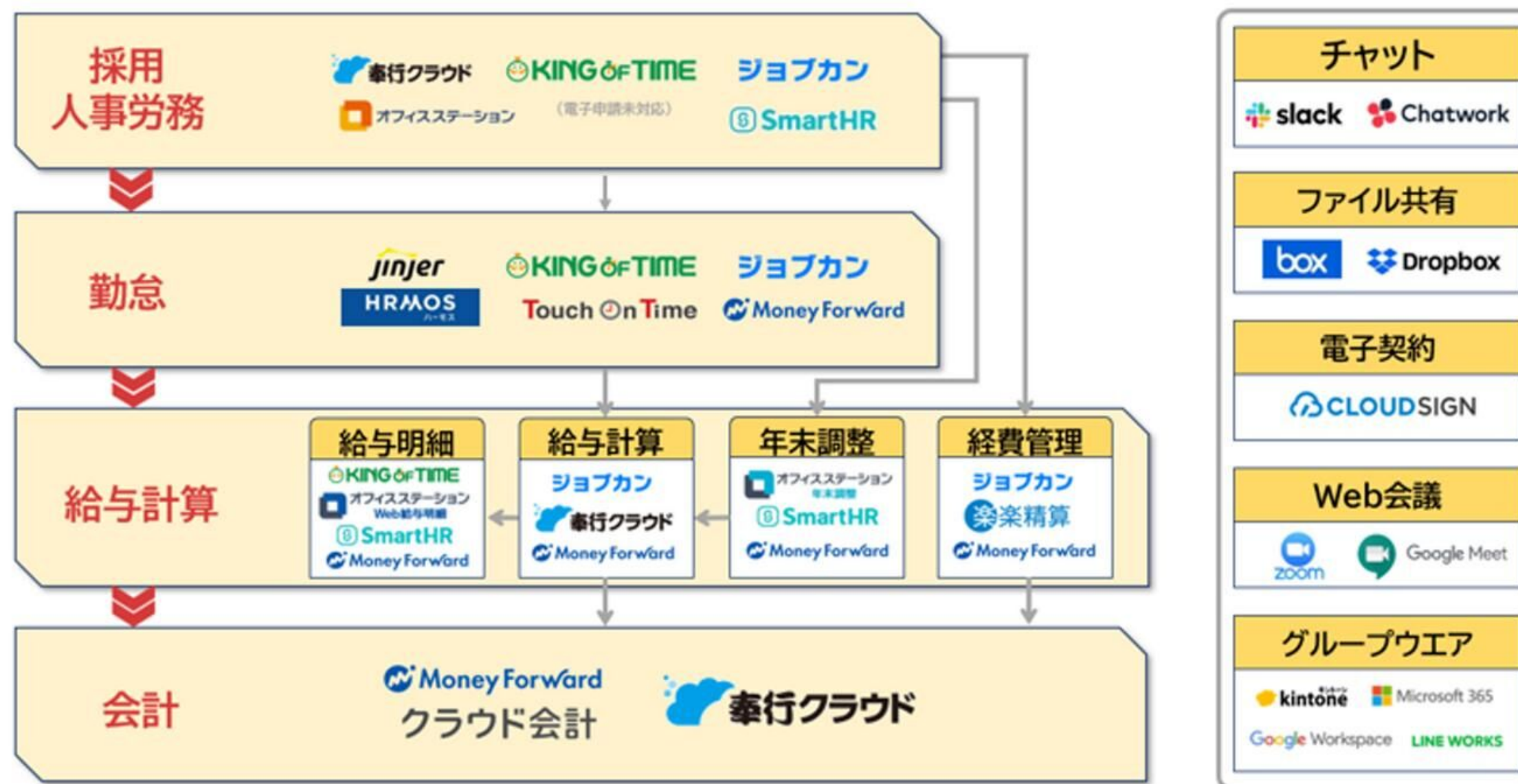
なないろのはなは、現状の組織のオフィス環境、既存のソフトウェアの活用、業務フローなどひとつひとつお伺いし、企業、組織、個人事業にかかわらず「バックオフィス業務の最適化」を提案します。

これからの事業の成長に不可欠なバックオフィスの効率化を実現するべく、働き方、総務、ITの各分野から様々なソリューションの提案や導入をサポートいたします。

01

会社概要

現状に合わせた最適なソフトウェアの組み合わせをご提案



01

会社概要

3つのサービスを提供

バックオフィスSaaSの 導入支援

勤怠管理や給与計算、会計システムなど、
バックオフィス業務に関するクラウドソフトウェアの
導入支援を行います。

事務作業の アウトソーシング

バックオフィス業務を担い、実務の分野から企業を支え
ます。専門性が必要かつ定型的で細かい作業の多い給
与計算や経理を代行します。

業務フローの再構築 ・コンサルティング

これまでの業務の流れを見直し、そしてこれか
らの時代に合うように最適で効率的な業務を
組み立てなおします。

02

仕事と生活の調和の促進・労働環境の改善や整備の取り組み①

A

非正規労働者の正規雇用化の推進

正社員になりたくても家庭の事情で就労時間の制限や在宅勤務を希望する労働者に対し、採用時・採用後、および定期面談を実施しその際には家族のことも本人が話せる範囲で確認している。正規雇用への目標時期や仕事量などの1ON1の面談などを積極的に実施して、働く意欲と家庭環境など複合的に丁寧にヒアリングし最適化する。

B

障害者の雇用の拡大

働きたい意欲のある方の採用を積極的に行うため、精神・発達障害者しごとサポーター養成講座を受講した。職場環境の見直しや採用後の接し方などの対応を社内で検討会を開催した。

C

女性の役職登用等の女性活躍の推進

キャリアアップを目指した資格の取得費用をサポートする仕組みを構築した。社員の成長をサポートするために定期的な面談を実施している。

02

仕事と生活の調和の促進・労働環境の改善や整備の取り組み②

D

仕事と生活の両立の推進

育児や介護の両立を支援するため、始業・就業時間繰り上げ・繰り下げ制度を整備した。家族の体調不良による遅刻早退や有給休暇も取得しやすくできるように業務担当の割り振りを日ごろから複数担当制とする。

E

環境・教育・子育て等の社会貢献活動

社員の子供を対象とした「社会見学ツアーin東京」を開催。子供たちに大学生活の様子や大人が働いている職場、今の東京がどうなっているのか、自分の将来を考えるヒントとを与える機会を作りたいと考え実施した。

F

従業員の健康づくりの推進

社員の心身の健康維持・増進のためには、気軽に会話やコミュニケーションができる環境づくりが重要と考えたためコミュニケーションツール（NeWork）の導入や、リアルオフィスを開催している。

02

仕事と生活の調和の促進・労働環境の改善や整備の取り組み③

G

テレワーク等の多様な働き方の推進

テレワークを導入し、出勤でも在宅でもどちらでも勤務ができる体制を構築する。
テレワーク導入に向けては、導入活用制度を活用し就業規則も改訂した。

H

その他労働環境の改善、雇用問題の解決等

時間外勤務時間の見える化により、業務分配や効率化をすすめ残業時間を減らしている。
日頃から顧客対応やメール等情報の共有を徹底し、業務の属人化を解消できている。有給取得率約70%

03

数字で見るなないろのはなの社員とは

スタッフ数

10名

- 全員が中途採用で、前職は会計事務所や社労士事務所で勤務していたプロフェッショナルなスタッフが多い。
- 前職での課題として、残業時間が多く家庭の時間が取れない、通勤時間が長い、テレワーク環境がないことから家族の体調不良時の対応ができない、など仕事をしたいけど両立が難しい環境で働いていたスタッフが多い。

居住地域

5都市

- 在宅勤務の仕組みがあるので、全国どこからでも応募と採用が可能。



男女比率

女性100%

- バックオフィスの業務経験を活かしたい、自分たちの経験の中で苦労してきたことをデジタル化やソフトウェアの活用することにより、もっと効率化できることを提案したい、という女性の応募が多い。
- 在宅勤務可能という職場は、家庭に事情のある女性には仕事と家庭の両立したい女性には興味が高いと考えられる

実は、家庭に事情があるスタッフを積極的に採用しています

01

介護の必要な家族と同居

高齢の祖母のいる家庭で介護が必要な状況ではあるが施設に預けることもできない。母は出勤しなければ仕事ができない業種なので、できれば娘の自分が祖母の介護をしながら在宅勤務で仕事を続けたい。



02

片親のみでの子育て家庭

離婚後、二人の子どもを子育てしながら仕事もしている。なるべく家庭に関わる時間を増やしたくて、通勤時間のない在宅勤務を希望。できるだけ寂しい思いをさせず仕事も精力的に続けたい。



03

子どもの不登校

ある日突然子どもが学校に行けなくなり、子どもは家で留守番するがママは会社に出社して家に不在の状態となる。少しでも悩む子供に寄り添ってあげたいと思い在宅勤務で仕事を続けたい。

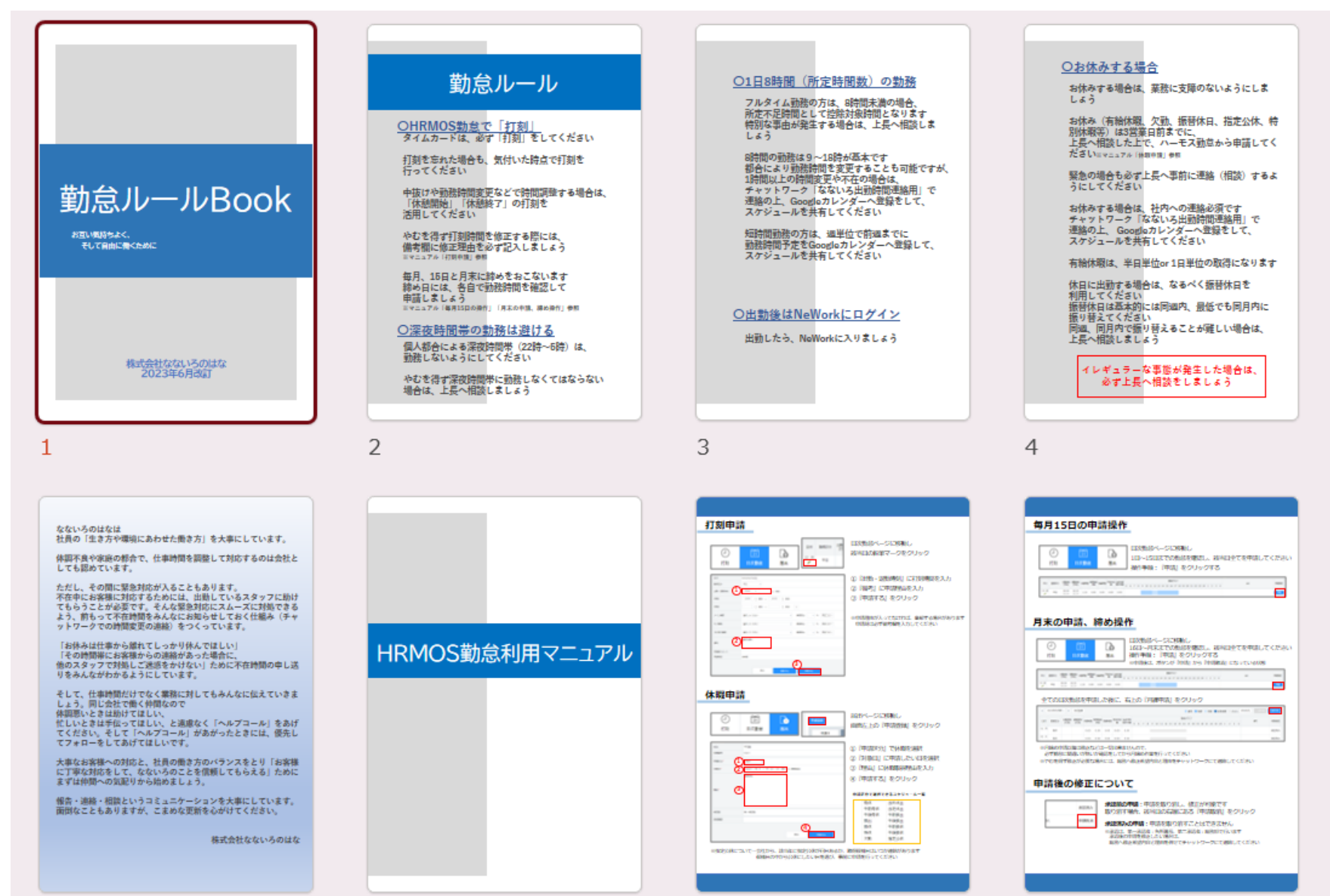


大切な家族を守りながら仕事ができる職場です

05

職場づくりの実践 ―社員が働くルールを策定する①―

自分たちの働き方は、自分たちで考えてルール化しています



なないろルール（2024.10.1更新）

※最新更新箇所は赤字になっています。

社内ルールがあやふやになった場合は、こちらに戻ってきて確認ください！
情報が古い、間違いがある、追加したいことがあれば、コメントしてください。

・なないろ働き方ルール

- ▶ 出社したらNeWork
- ▶ 勤怠ルール
- ▶ 会議について
- ▶ オフィスへの移動時間について
- ▶ 時間の管理方法について

・お客様とのコミュニケーションルール

- ▶ 画面越しの見た目
- ▶ 言葉遣い
- ▶ 身だしなみについて

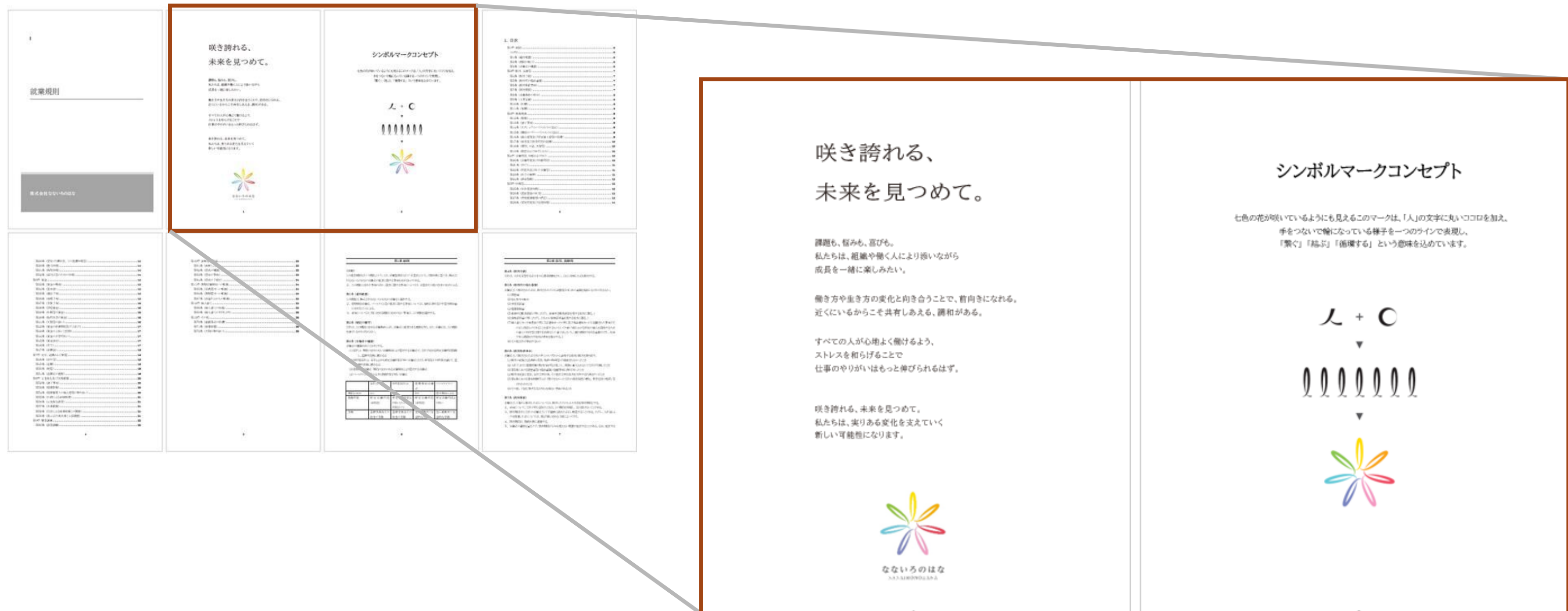
・業務ルール（※2024年10月1日更新）

- ▶ infoメールの確認・処理について
- ▶ 【厳守】顧客情報の取扱いについて

いつでもだれでも見えるように共有しています

職場づくりの実践 ―社員が働くルールを策定する②―

就業規則の中に、社員が目指す方向を明記しています

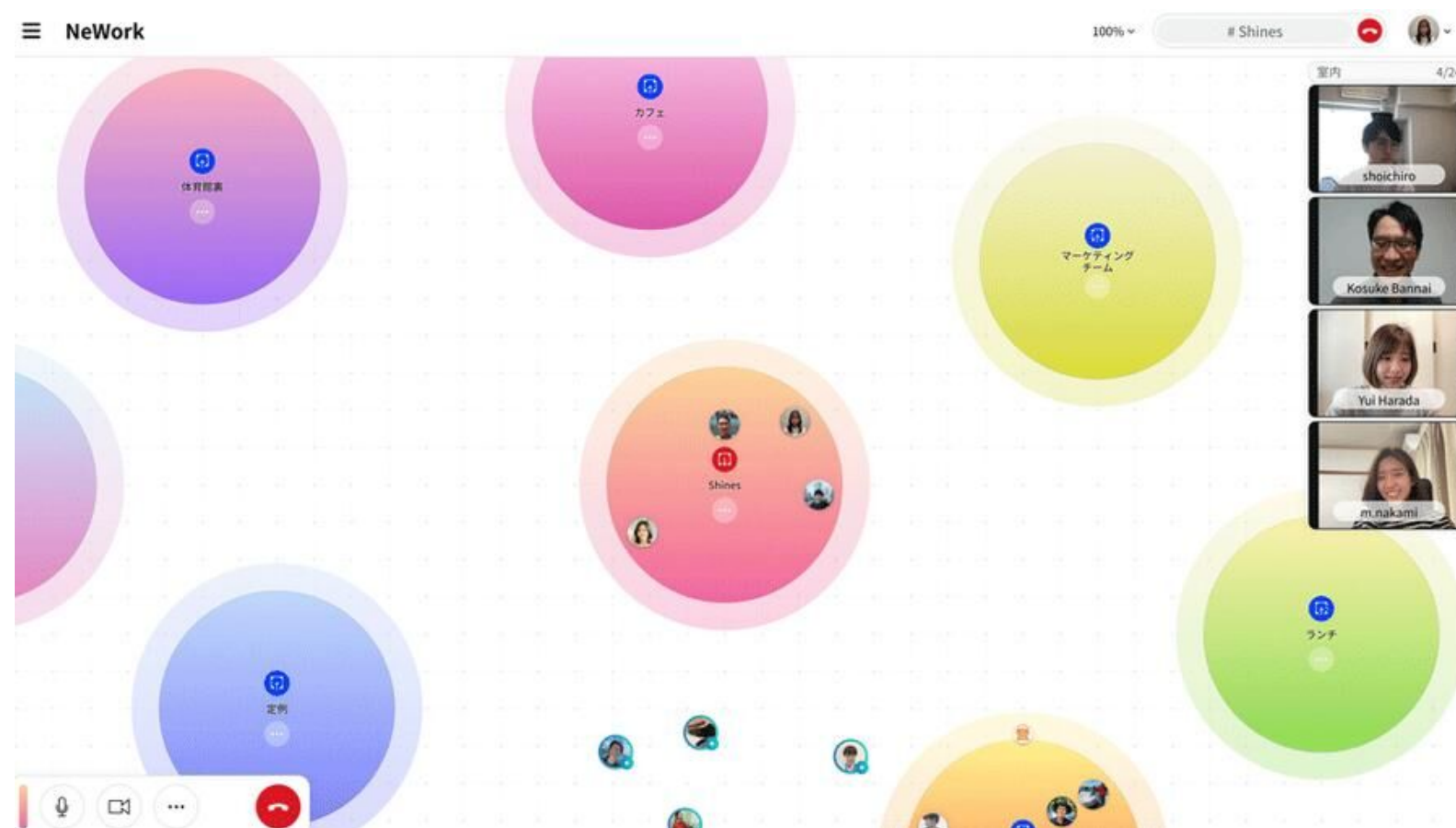


働き方に迷ったら就業規則を確認できる体制があります

06

職場づくりの実践 —いつでも相談できるような環境—

オンライン会議室やチャットワークをフル活用しています

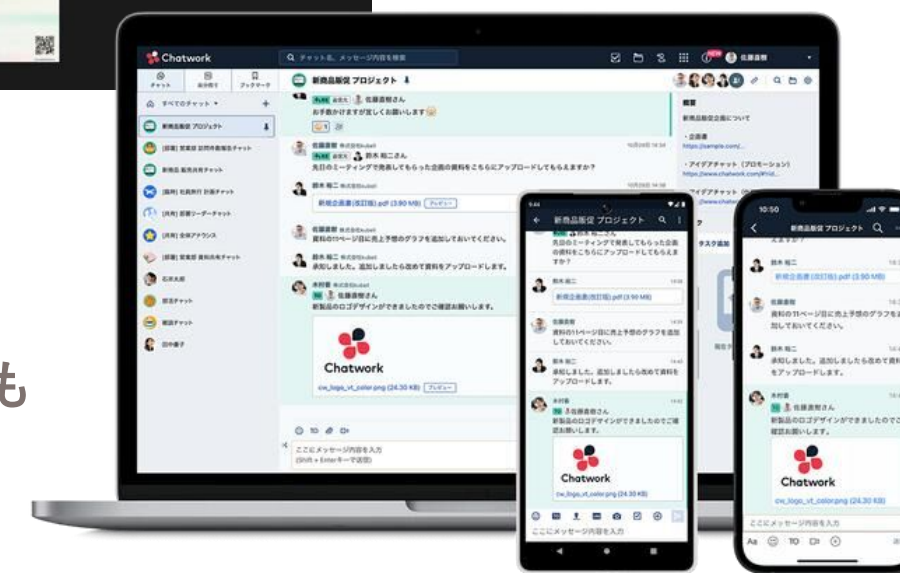


「NeWork」 ワンクリックで気軽に話せるオンラインワークスペース



「Zoom」
商談や全員会議など
顔を見ながら話す時
などに活用。
録画機能、AI機能も
フル活用で業務効率化
と情報共有しています

「Chatwork」
社内社外問わず情報を
こちらに集約。
社内報や各委員会なども
こちらで発信



場所や距離を飛び越えて、隣で仕事している感覚を持てる環境で仕事しています

07

働きやすい企業の実現　－えるぼし認定－

2024年4月に女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定」を取得しました。認定項目5項目のうち4項目の基準を満たし、2つ星（2段階目）に認定されました



えるぼし認定通知書交付式

（左：石川労働局局長 八木 健一氏　右：株式会社なないろのはな 代表取締役 橋亜希子）

代表コメント：

このたびは、「えるぼし認定」の2つ星を取得することができ、大変嬉しく思います。2018年の創業以来、共に盛り上げてきた社員たちの頑張りを形にして見えるものにしたいと今回の申請をさせていただきました。今後も従業員が個々に持つ多様な価値観・能力を発揮し、より活躍できることを目指して取り組んでまいります。



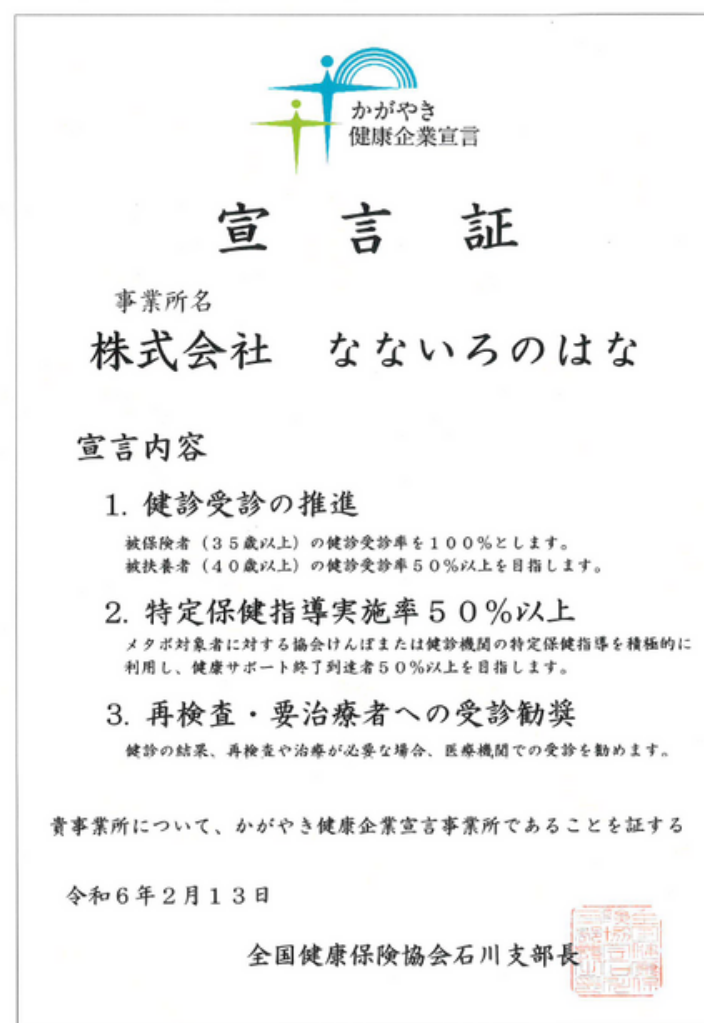
07

働きやすい企業の実現 ー石川県ならびに厚労省の認定等ー

様々な個人の要因にも関係なく働きやすい職場環境整備を進めており、各所に認定や登録をいただいております。



いしかわ健康経営宣言企業 認定証
(2024年2月)



かがやき健康企業宣言 宣誓証
(2024年2月)



ワークライフバランス企業登録
(2024年10月)



精神発達障害者しごとサポーター
(2024年9月)

07

働きやすい企業の実現 ―石川県ワークライフバランス企業 知事表彰―

ワークライフバランス（仕事と生活の調和）を実現するための職場環境の整備等に積極的な取り組み、顕著な成果を生み出したことを表彰いただきました



石川県知事 馳浩氏より表彰状授与
(2025年3月)



07

働きやすい企業の実現 ー国際女性デー セミナー登壇ー

【国際女性デー制定50周年】NEXT50～幸せな未来に繋げる具体的アクション～ に登壇いたしました



(2025年3月8日 国際女性デー登壇)

08

コミュニケーション　－会社と社員のつながり－

普段は離れて仕事していても、リアルで一緒に過ごす時間は必要です

「リアルオフィス」 定期開催

年に数回、全国の社員が集まって一緒に仕事をする「リアルオフィス」を開催しています



親睦会

普段は離れている社員同士でも地理的な制約を超えて、遠隔地からでも研修に参加できるように工夫しながら開催しています。



08

コミュニケーション ー外の世界と社員のつながりー

社内だけでなく、社外研修やコミュニティにも積極的に参加しています

最新情報収集のための研修会

バックオフィス関連の情報を収集するために、
新たに入社した社員とEXPOへ参加しています



社外とのつながり

同じバックオフィスで働くスタッフ同士が交流する
場にも参加しています



働くことだけでなく一緒に成長する仲間を応援する仕組み

- ・社員研修旅行（年ごとに計画）年2~3回開催
- ・お誕生日のお祝い（2024年は誕生日にお花をお届け バースディフラワー）
- ・資格取得応援手当
（資格取得を宣言し初回の受験で一発合格した場合はその資格取得費用を会社で負担）
- ・資格取得のための業務調整相談可能
- ・育児などによる長期休暇からの仕事復帰応援体制あり
- ・アライアンス企業との社員交流会開催
- ・勤務時間中の勉強会適宜開催
- ・社内起業応援体制あり
- ・パソコン、モニター等の業務に必要な機器は支給
- ・在宅勤務時の通信費補助あり
- ・入社前からの会社とのコミュニケーションとオリエンテーションが充実
- ・全国、海外どこからでも勤務可能



きっかけは 受験生を持つ弊社社員からの相談でした



中学生の
ママの悩み

“子どもが進路に悩んでいるの”
仕事をするとか、大学に行って何を学ぶ
とか、将来なりたいものとか、選ぶ以前
にどんな将来があるか想像できていない

“子どもの相談にのってあげれない”
自分の経験してきたことないので、他の
大学、他の会社のことを話してあげられ
ない

“進路って言われても・・・”
進路ってどうしたらいいの？
言われてもよくわからない。
学校と部活と宿題と友達と遊ぶ毎日の中から
自分の将来を決めるのは難しい

“見たことないから想像できない”
会社で働くとか、大学に通う、ってどんな
場所でどんなことするのか見たことないか
らしたいことやりたいことが想像つかない



中学生の
悩み

それなら今の東京を体験してみたら
自分の将来を考えるヒントになるのでは？

10

子どもたちの未来を応援 ー大人の世界を見に行こうー

社員の子ども（主に中学2年生・3年生）を対象に以下のプログラムを実施しました

会社を見に行こう

◆JBアドバンスト・テクノロジー株式会社
（ソフトウェアおよび生産管理パッケージ
ソフトの開発、製造、販売）
場所：東京ミッドタウン八重洲（東京駅前）



大学を見に行こう

◆芝浦工業大学
（建築学科を中心に見学）
場所：豊洲キャンパス



街を見に行こう

◆SHIBUYA SKY
渋谷スクランブルスクエア屋上のスカイ
ルーフを見学する
「展望せよ。未来。世界。自分。未来。」



事務所で仕事しよう

◆ビジネスエアポート日本橋
なないろのはなの東京オフィスで実際の
仕事の様子を体験する



＜参加した子供たちの感想＞

- ・家に帰ってきてから将来のことを親とたくさん話した
- ・仕事することがイメージできた
- ・生まれ育った石川で自分ができていることを考えてみた



コーポレートワード

組織も、人も、“らしく” 輝く。

会社と社員に寄り添える会社であり続ける

フットワークの軽さを強みに変革していく

週休3日を目標とした業務改革・仕組みづくりを目指す